

SLA通信

〒460-0024 名古屋市中区正木1-2-8
(財)シニアルネサンス財団内
TEL 052 332 7883

第26号

次年度へのバトンタッチを控えて思うこと

中部シニアライフアドバイザー協会
会長 今泉治子

平成13年度の活動も終わりに近づきました。
この1年、協会創立以来、地道に積み重ねられたSLA活動の実績に、多少なりとも上積みができればと願い、協会運営に力を注いで参りました。

今年度は、「特設電話相談チーム」(代表 大森政文氏)が立ち上がり、全国一斉特設電話相談「シニアひとり暮らし110番」「定年前後の悩み110番」では、研鑽を積んだチームの相談員の方々により、質の高い相談活動が行われました。

また、地域部会では、「岐阜部会」(代表 尾関恵子氏)が再生し、2月2日、JR岐阜駅ハートフルスクエアで、多くの一般市民を巻き込んでイベントを華々しく開催したのを皮切りに、同所で、生き生き教室を展開しています。

そして、及ばずながら、私も幹事会活動のかたわらSLA5人でパソコンチームを結成し、シニアITアドバイザーの資格を取得、パソコンによるSLA活動をはじめました。

これらの活動は、会員が運営をし、協会がサポートするという、SLA活動本来の姿です。協会は、こうしたSLA活動が継続的に力を発揮できるように、協力すると共に、常にアンテナを張って情報を集め、SLA活動が生まれやすい環境を用意することが望まれます。

今協会は、会員の減少など、少なからぬ問題を背負いつつ運営されています。SLA活動の充実には、そうした問題解決のためにも急務であり、私たち会員は、手を携えて、積極的にそれに取り組み、現状を切り抜ける方向へ進んでいかなければなりません。

一方、会員のみみなさんの間からは、新会員加入の必要性から、養成講座の開講を望む声も高まっています。それは、未来へ希望をつなぐ素晴らしい気運に違いありませんが、SLA活動の充実をはかる努力なくしては、その実現は不可能です。

急速に進んだ高齢化と少子化の21世紀、SLAの使命はますます大きく、SLA活動の可能性は無限です。今年度も残り少なくなりましたが、SLA活動の充実に向けて最後まで力を尽くし、次年度へ大きな望みを託したいと思っておりますので、ご協力とご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

そして、今年度の協会の活動に際し、たくさんの声援とご支援を下さってきた会員の皆さま、ありがとうございました。特に、協会リーフレット作成の資金作りのために、「創立記念のつどい」で開いた『手作りバザー』では、名北、尾張、岐阜地域部会をはじめとする、多くの皆さま方に、言い知れぬお世話をおかけしました。おかげさまで、リーフレットもつくることができました。協会では既にPR活動に役立てておりますが、会員の皆さまも、ぜひSLAのPRにご利用いただきたいと思っております。

最後に、今年度の幹事会のメンバーへのメッセージですが、よくSLAは個性の強い人が多いという感想を聞きますが、幹事会のメンバーもその通り。年度スタート時には、意志の疎通がはかれないのでは、危惧もしましたが、すぐにそれは杞憂におわり、責任感の強い方ばかりでしたので、十分力をお借りできました。心身ともにお世話をかけましたが、苦言もなく、いつも笑顔で(?)、よく動いてくださったことを感謝しています。

今後、私たちの協会が、派手さはなくても、内容のいい協会として、末永く歩んでいきますように、これからも協力していきたいと思っております。

**第6回全国一斉特設電話相談「定年前後の悩み110番」を実施
厳しい雇用情勢を反映して、相談が殺到！**

3月16日(土)・17日(日)の2日間、全国一斉特設電話相談「定年前後の悩み110番」が開設されました。この110番は今年で6回目を迎え、仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡の6箇所のSLA協会で行われました。

厳しい雇用情勢の中、退職・定年後の「経済基盤」をいかに築くかは、定年前後の人々にとって大きな課題であり、相談室の電話は2日間、殆ど休む間もなくなり続けました。

中部SLA協会では、開設以来、地道なPR活動の積み重ねにより、テレビ・新聞各社に、「中部シニアライフアドバイザー協会の110番」も認知されるようになりました。開設に際しては、報道の協力も得られ、110番開設日には、テレビカメラを向けられた相談員が、狭い相談室で、電話を前に緊張して相談開始を待つシーンもおなじみになりました。

今年も、NHKと民放3社のテレビ局が10時前に取材に訪れ、各局とも昼と夕方のニュースの中で、情報が流れました。また、中日・朝日・毎日・読売新聞にも掲載され、特に読売新聞には、写真入の記事(次ページ)で大きく紹介されました。

中高年が険しいライフプランの選択を強いられる社会情勢の中で、シニアに関わる年金などの相談を気軽にできる場所はまだまだ少なく、毎度のことですが、SLAが担う役割の大切さを開設を通して再び実感しました。

全国一斉特設電話相談「定年前後の悩み110番」中部SLA協会相談内訳

項目	健康	医療	介護	年金	税金	財形	相続	離婚	住居	家族	人間関係	生きがい	仕事	終末期選の択	その他	受付総数
件数	4	8	0	120	0	1	0	0	0	1	0	2	7	0	2	145

全国一斉特設電話相談「定年前後の悩み110番」地域別相談者数内訳

地域	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	福岡	計
相談者数	20	145	145	60	39	30	439

**全国一斉特設電話相談「定年前後の悩み110番」相談員及びスタッフ(敬称略)
相談員(特設電話相談チーム)**

浅野澄子 鈴木八重子 山下可子 大西フミ子 木村秀子 塩野高子 杉浦玲子
中島衣代 保坂正子 青柳よ志子 大歳篁子 斎藤立子 高梨泰子 今泉治子
(以上14名)

スタッフ

今泉治子 加藤恭子 畑島美奈子 奥山裕子 田中秀典 近田昌枝 松本敏子
大森政文(以上8名)

読売新聞 3月1日(金)掲載記事

相談電話の利用を呼び掛ける中部SLA協会長の今泉さん(中央)



冷え込む中高年の春

「定年の悩み」で電話相談 中部SLA協会が16、17日

同じシニア世代の立場がよって運営されているボラ
ら、中高年者向けの「電話相談室」を開設している中部
シニアライフアドバイザーの協会は一九九四年に設立
(SLA)協会(今泉治子 会長)が、十六、十七の両
日、「定年前後の悩み」一
番」を開設する。
同協会は、シニアルネサ
ンス財団(本部・東京)が設、月曜・金曜日(午前十
国の許可を得て実施してい、午後五時)、会員が当
る養成講座を修了、その審、相談に当たっている。
査資格に合格した人たちに、会長は今泉さんによると、
相談を受け付けた。

同協会は、シニアルネサンス財団(本部・東京)が設、月曜・金曜日(午前十
国の許可を得て実施してい、午後五時)、会員が当
る養成講座を修了、その審、相談に当たっている。
査資格に合格した人たちに、会長は今泉さんによると、
相談を受け付けた。

「定年前後の悩み」一
番」を開設する。
同協会は、シニアルネサ
ンス財団(本部・東京)が設、月曜・金曜日(午前十
国の許可を得て実施してい、午後五時)、会員が当
る養成講座を修了、その審、相談に当たっている。
査資格に合格した人たちに、会長は今泉さんによると、
相談を受け付けた。

今年には厳しい雇用情勢の中、倒産やリストラ、早期
定年退職など、中高年世代
に様々なライフプランへの
対応が突きつけられるケース
が増えていることから、同
協会では、年金の繰り上げ
受給や失業中の国民年金の
加入方法、就労をめぐる問
題など、切実な相談が一段
と増えると見ている。



テレビカメラを浴びながらの相談風景



相談室に取材に訪れた取材陣

平成13年度後期活動報告

幹事会たより

- 10月13日(土) 第6回幹事会(以後4月13日まで第2土曜日開催)
SLA通信25号発行
- 11月11日(日) 創立記念のつどい ~バザー
- 3月2日(土)・9日(土) 特設電話相談チームの年金勉強会
- 3月8日(金) パソコン研修会(NTTプラネット)
- 3月16日(土)・17日(日) 特設電話相談開催『定年前後110番』
- 3月25日(月) SLA通信26号発行
- 4月20日(土) 中部シニアライフアドバイザー協会通常総会(高砂殿本店)

研修会たより

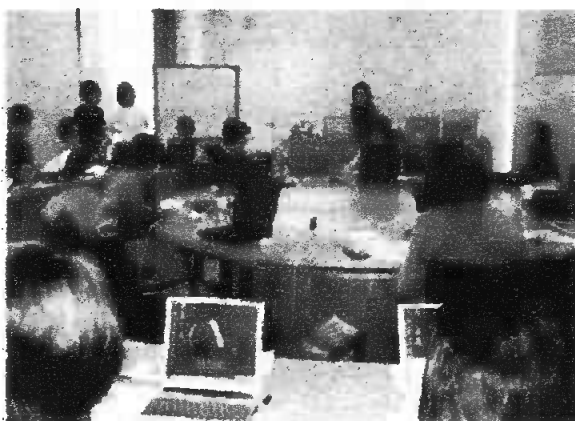
3月8日(金)に、パソコン教室をひらきました。昨年と同じく木村利行さんのご好意で、NHKビルの中にあるNTTのすばらしい施設をお借りして行うことが出来ました。

ITの時代を反映しているのか、シニアのパソコン教室は无处もいっぱい、今回も18名の参加者があり、10時~4時まで休息する時間も惜しんで、研修に励みました。

今回は、SLA会員の中でパソコン指導者養成講座に通い、試験に合格された方々に指導をお願いしました。昨年ご指導いただいた、田中秀雄さんにもオブザーバーとしていろいろ教えていただきました。

“ローマは一日にしてならず”といいますが、パソコンも1日や2日ではモノになりません。日々の努力がマスターにつながります。

研修部としても今後もパソコン教室を開いていきたいと思っています。次回にもぜひご期待ください。ご意見、ご要望がありましたら遠慮なく幹事会の方にご連絡いただきたいと思っています。



SLA パソコンチーム

シニアの人たちにとって、難解なパソコンを学ぶノウハウを研修し、結成しました。講座を随時開講しています。ご希望の方は、メンバーにお問合せください。

また、チームへの参加者も募集しています。

チームのメンバーは、今泉治子・加藤恭子・小澤節子・畑島美奈子・松本敏子です。どうぞ、よろしく。

中部シニアアドバイザー協会通常総会のご案内

4月20日午後1時より 高砂殿本店(地下鉄 東別院④出口)

地域部会だより

名 北 部 会

10月14日 例会 ザ・シーン
12月08日 尾張部会合同勉強会
01月19日 新年会 於：美々卯

尾 張 部 会

06月26日 総会
11月01日 施設見学 たのし家
12月08日 名北部会合同勉強会

12月8日(土) シニアライフアドバイザーのための勉強会(名北、尾張部会合同)

*悪徳商法トラブル講座 名古屋市消費生活相談員 中庄とみえ氏

*私たちの生活と環境 水質研究家 妹尾瑤子氏

岐阜支部がイベントを開催

岐阜市女性センター開館イベント ～駅前からの発信～

昨年夏より、再スタートに向けて、準備を重ねてきた岐阜支部が、2月2日(土)、岐阜市女性センター(JR岐阜駅ハートフルスクエアG内)のオープニングイベントに参加、「生き生き教室」を開きました。会場のセンター内の研修室には、多数の一般市民が集まり、中部SLA協会の他地域の会員も応援に駆けつけ、にぎやかなSLA活動を行いました。



「生き生き教室」は、次のとおり。
リフォームファッションショー
タンスの中でお昼寝中の着物を起しましょう。あの日本の伝統美を度は洋服として復活させましょう。
『楽々介護体験』をしてみましよう
介護体験のない方に介護方法を教えます。また、介護を受けることなく、死ぬまで元気でいられるコツもお伝えします。



シニア・女性の心の悩み相談室

中年を過ぎると若いときには思ってもみなかった悩みが出てきます。また、誰でもいいから話を聞いて欲しい、困りごとをどこへ問い合わせたらいいか、そんなときこの相談室のドアをノックしてください。

なお、岐阜支部は、4月より、同センター内で、「生き生き教室」を開催する予定です。現在、セミナー及び講演会の講師を募集中です。

創立記念の集いを開催しました

2001年11月11日(日)高砂殿本店において創立記念の集いが開かれ28名の参加で第1部、第2部とも和気藹々と楽しいひと時を過ごしました。

第1部バザーは、初めての試みでしたが、会員の皆様による手作り品が本当にたくさん集まり、内覧会ですでに予約が入った物もあり、内々でやるにはもったいないという声が出るほど盛況でした。

第2部は、複音ハーモニカとピアノによるデュエット&トークショウで渡辺千里・はるみご夫妻によるデュエットは今はやりの癒し系の音楽でクラシックから、流行歌、タンゴまで、幾種類ものハーモニカを吹き分けるというすばらしいもので、ハーモニカ一つでバイオリン風の音が出たりピアノの音が出たりするの聞くのは、初めての経験で、千里氏の舌は、何枚なのかしらなんて驚いたり、感動したりしました。ハーモニカに合わせて、“赤とんぼ”などを合唱する時間もあり、“音楽ってすばらしいな”と感じさせられるひと時でした



創立記念パーティと初めてのバザー

小澤 節子

毎年の創立記念日に月並みでなくSLAの会員にとって、有意義でかつ楽しい日にしたいという幹事さんの発案で、バザーが開かれました。

初めのうちはどことなく遠慮がちでしたが、売り手と買い手、部会ごとの競争意識の相乗効果で息がぴったりと合って時間が過ぎていくうちに佳境に入り、大盛況の中、各部会とも完売でした。精魂込めた作品が売れたという満足感もあり、とても楽しいひと時でした。

会員が減少していく中で、PR、各種の研修、会員同士の親睦、などの活動の資金源として一つの道を開いた画期的な催しではなかったでしょうか。

協会のリーフレットが新しくなりました

中部シニアアドバイザー協会のリーフレットが新しくなりました。

高齢社会の中、多様な活動をする団体が多くあり、その中でSLAの存在をアピールし、電話相談や色々な活動のPRに利用できると思います。

SLA活動を行う上で有効に活用してください。

2000部作成してありますので、必要な方は、幹事までご請求ください。

このリーフレットはバザーの収益金で作ることが出来ました。

ご協力くださった皆様、有難うございました。



平成 13 年度幹事の動き

おつかれさまでした！

またよろしく！

4 月で任期満了の幹事 (2 年間)		4 月から引き続いて留任の幹事	
会 長	今 泉 治 子		田 中 秀 典
研 修	梅 木 房 子		奥 山 裕 子
渉 外	畑 島 美奈子		近 田 昌 枝
広 報	加 藤 恭 子	監 査	稲 村 忠 雄
	松 本 敏 子		桂 川 豊 明

13 年度 幹事の思ったこと

梅木 房子

13 年度幹事の名前の中に入った時、これは困った、何をすべきか良く理解できないまま、役員になってしまい会員の皆さんに申し訳なく思いました。

幹事会に出席しているうちに、色々考えさせられることが多々ありました。会員全体（私自身も含めて）に何をしようとするか目的が、はっきりしていないのではないかと思います。目的が明確でなければ活動もスムーズにいきません。

SLA の一番のメイン、電話相談がありますが、これも会員の中で何%の人が参加しているのか、会費だけ払って何も活動していない会員も多いようです。これでは会員になった意味がなくなります。この一年間に小グループながら新しい活動を始められた会員さんが多く出てきました。自分の出来るグループに入って今後は能力を発揮したいものです。

会員の皆さん！冬眠から覚めて春に向かってダッシュしようではありませんか。与えられて活動するのではなく、自分達で活動を見つけていくのが、SLA の活動そのものだと二年間の幹事会で私が習得したことです。

2 年が終わって

畑島 美奈子

今、SLA にはまっている。2 年前までまったく言っていない程 SLA には関係のない生活を送っていた。資格を取るにはとった、アドバイザーと言えるような知識も、キャリアも持ち合わせていないので活動のしようがないと思っていた。今もただのおばさんに変わりはないのだけれど（この言葉、非常に抵抗があるのだけれど、他に言い様がないのであえて使うのだが）SLA としての仕事は多様であるということが幹事をやってみて少し分かってきた気がする。ま、その割には、幹事の仕事も、あれこれ文句を言いつつやってはきたが…それを受け入れてくれた（本当のところはうんざりしていたとは思うが）仲間に出会えたことも収穫のひとつである。SLA としてあれもやってみたいこれもやってみたいと近頃は考えるようになったのである。



平成 13 年度 幹事・監査を振り返って

監査 稲村 忠雄

平成 9 年 2 月 (1997 年)、シニアライフアドバイザー (以後 SLA) の認定証書を名古屋で授与された 5 期生です。もう 5 年経過しました。SLA の役割は、シニアライフすなわち中高年齢者の生活全般に渡る種々の相談を受け、個別に適切なアドバイスを与えることにある。

富山へ戻りさて SLA 活動を・・・と思っただが一人では何も出来なかった。

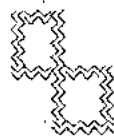
幸い名古屋で中部 SLA 協会に所属して今日に至る。皆様の活動は連絡書面で知っておりました。活発なボランティア活動を続け研修に励む様子も知っている。

そして平成 13 年度の幹事会に入り監査になりました。遠方であり十分な活動協力は

出来ませんが、推薦もあるとのことで監査として幹事会にはいりました。

幹事会には、一、二度参加しましたが幹事の皆さんの熱心な討議、打ち合わせ事項、連絡とその熱心さに敬服しました。遠方の私の所へも各種書類、連絡事項ときちんと連絡を受けました。SLA として常に前向きでその活動への思いが伝わりました。富山県の SLA は現在 3 人です。各々個々に活動しており連絡は無く組織も出来ず残念ですが低調です。

この 1 年間、大変勉強になりこれからの私の SLA としての活動に何らかの糧として勉強していきます。ご指導を受けた会長様はじめ幹事の皆様に厚く感謝します。



監査 桂川 豊明

昨今感じておりますのは、「シニアライフアドバイザー」と言うこの名称が放つ響きのなんと心地良い事かと思う反面、この名称ゆえの重さに打ち拉がれる時があります。

SLA はあまりにも間口が広過ぎて私の取り付く島も無いようにさへ思われます。でもまずは参加することに意義があり、そして会員の皆様といろいろ接する中で自分自身の何かを再発見していけるのでは・・・と気持ちを新たにしたい 1 年でした。



平成 13 年度 幹事を振り返って

加藤 恭子

多才なメンバーに手をとられながら過ごして来た 2 年間の幹事も、無事に任を全うして次の方へと手渡していけそうです。

幹事になり、いろいろなことにチャレンジし、自分なりには失敗したり力不足を嘆いたりしながらも、元気な前向きのシニアとして若々しく年を過ごしてきたと自負しています。

この 2 年間で培われ育まれた、仲間の“わ輪和”を大切にしながらこれからも常にチャレンジ精神を失わずに努力していきたいと思っています。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

松本 敏子

長いようで、あっという間の二年間でした。SLA 通信 21~26 号を発行しました。パソコン入力もできず、印刷の‘い’の字も知らなかった自分が、皆様に教えていただき無事に発行できたことを嬉しく思います。個性豊かないろいろの方々へ接し、考えたり、落ち込んだり、元気をもらったりと、独りよがりになりがちな時期に自分を見つめることができて良かったと思います。

平成13年度 幹事が思ったこと

一年を振り返って

近田 昌枝

外から物を言うならば、一度は内を経験してからと引き受けしたものの、任期が二年とは全く知らず気が付いた時には、もう遅かったわけで、他の幹事の足をひっぱるだけの1年でした。残り一年どうやっていこうかと思案中。少しは真面目に幹事としてのお役目を、真っ当しなくてはいけないかと、只今しきりに自戒する今日この頃です。

奥山 裕子

はじめて、SLA 会員であることを実感して過ごした一年でしたが、長い様な短い様な一年でした。SLA (シニアライフアドバイザー) 日本語にすれば、とても資格のない自分ですが、たくさんの方々との出会いがあり、そして行動しとても勉強になりました。

SLA の今後と問われれば、まだ未知数ですが確かに退会者も多いが今こそ残ったメンバーで小回りがきく同士として、そして各自参加型でアイデアと行動力で自然体のボランティア活動をし、共に自分自身のシニアライフも楽しめるようになればと思いました。

シニアによるシニアのためのシニア川柳

田中 秀典

川柳は同じ一行詩でも、俳句と異なる事が随分あります。

すーと体に入って、しばらくして思わず膝打らしてしまうのが名句です。グシャレや低俗な素材はご法度ですが、マスコミが取り上げるものにはしばしば川柳の本質と誤解させてしまうようなものもあります。私の趣味の一つである川柳と皆さんと共に鑑賞したいと思います。まずは名句鑑賞から

▽ 盃に散る花びらも酒が好き 俊秀

▽ 一人では寂びし二人は煩わし 翠公

▽ ぬぎすててうらがいらげんよという 水府 恵美子

▽ 髪梳いて蜂のなかつた人と知る 恵美子

どうですか？これが川柳です。

一方、思わず言葉と失うような迷句もあります。人間の持つ深層心理と引き出すのも川柳の面白さです。

◇ 願わくば蜂の死に水取るつもり

◇ 泣きながら娘とくばる遺産分け

◇ 姑と和解に米の水かげん

誰にも鉢めて、誰にも作れぬ川柳が究極の川柳です。出来はともかく、私の拙筆五句と披露します。どうか皆さんも気軽に作って見てください。

◆ 女医が歌取れば血圧降さ出す

◆ 太平の海だよ雑魚と刺り切れば

◆ 介護する母にぞんげの乳房よく

◆ フルムーン初めて流す妻の背を

◆ 妻までは一緒に行きぬ猫と位む

和 わ 輪

バトンタッチされた方は、次の号でSLAの仲間に
バトンを渡してください（原稿は400字程度）
気楽にリレーを楽しみましょう！



福村正樹さんから

「このごろ思うこと」

私は、昨年来健康を害し、気管支喘息で入退院を繰り返していますが、おかげ様でまだ最後のお迎えを頂いておりません。如何に自分の健康を守っていくかと言うことについては、いろいろ考えたりしておりますが、最近こんなことがありました。私の屋敷中に100年近くになる銀杏の木がありますが、この木の側を小川が流れており、この小川を町の都市計画で、側溝をコンクリートにし環境整備を実施しました。ところがその後、銀杏の木の様子がおかしいのです。

5月ごろになると新芽をどんどん伸ばしていたものが、あまり元気がありません。しばらくすると、上の幹から折れて落ちてくるではありませんか、なぜこんな事になるのか、いろいろ研究してみましたが原因がわかりません。

環境が変わった事といえば、側溝にしたこと以外考えられません。しばらく様子を見ていると葉はしおれて実はなりません。これは銀杏の木が、側溝をする前は土があったため、水が浸透して水分を吸収し、葉から蒸発する水分とバランスが取れていたものが、側溝が出来たために水分の吸収が少なくなり、枯死を防ぐために枝を折り、葉の数を減らしていたものであることが結論づけ出来ました。その後、業者に依頼して上の枝を大きく切ってもらったために、やっと元気になり昨年はまた銀杏の実が、成るようになりました。

私は、木ですら自分の生命を守るためにこんなに努力していることに強く感銘を受けました。まして人間である自分の生命を守る努力を、どうしているのかと、つくづく考えさせられる今日この頃です。そして自分の健康を良く考えて生きていきたいと思っています。

どうぞ皆様も健康にご留意されご自愛の程お祈りしております。

次の方は、大川克巳さんをお願いします。

わ 和 輪

佐藤勝人さんから

今は、障害者の住宅改造の業務を3年間余り担当し、約700軒のご家庭を訪問しました。多くは、脳血管障害で介護保険の対象者です。そのご家庭で感じることは老老介護（高齢者が高齢者を介護）で、介護者が大変ご苦労されてみえます。介護保険の理念と現実とは、かけ離れていて各種の報道どおりの悲惨な状況に遭遇します。当面の改善策は、公的責任、特に公費の拡大とケアマネジャーの身分保障（特に賃金）の拡大により対象者に積極的にかかわる組織づくりが急務と思われれます。

さて、私事ですが、末子が高校1年生で大学卒業??まで6年、妻も定年前退職し2人で福祉関係の事業所を立ち上げようと計画しています。そのために、各種の勉強をしています。先輩方のアドバイスを期待します。

次の方は、清水博子さんにバトンタッチします。



青井久子さんから

SLAって何なの?と聞かれる。知らない人は多い。私だけかしら・・・
研修が無い、行われぬ、いつあるのか分からない。

高齢社会にSLAの任は厚いし役割もあると考えていた。期待が持てない世の中であっても、存在する限り責任があると思っている。いったい何のために、誰のために組織があるのか子供達の前で事実を現象を述べる。学童に教養を与え人間として共有財産を研く、良い社会作りを目標にその一端であることに思いを馳せている。出来るといわれる人は、出来ない人がいるから出来るとも思う、が、出来るとは何をさすのか考えてみたい。

質問ですが、SRクラブの件、当初聞いていなかった。いつから、どんな経緯で、一握りの人間でよいのか?

私だけではない質問ですので、この際今一度、紙面での回答を希望します。

次の方は、中野絨子さんにお問い合わせしました。

青井 久子さんへの回答

研修会は今年度も、全体研修会、電話相談研修会、パソコン研修会が行われました。

会員には、その都度、SLA通信やはがきで、お知らせをしております。ご確認ください。

SRクラブは、シニアルネサンス財団が運営する、シニアの余暇活動を支援するクラブです。くわしいことは、財団のHPに紹介されていますので興味があれば、ご覧ください。

<http://www.sla.or.jp/sr-club/index.html>

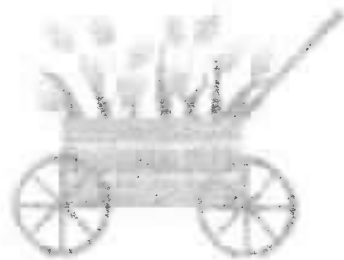
45歳以上の方であればどなたでも入会できます。資料等は下記へご照会ください。

052-323-3262 SRクラブ 担当 貝瀬さん

シニアアートフェスティバル 好評開催中

平成 14 年 3 月 27 日(水)～31 日(日)
 午前 10 時～午後 6 時 (最終日は午後 2 時まで)
 電気文化会館 5F 西ギャラリー 052-204-1133
 地下鉄伏見駅④出口 名古屋市中区栄 2-2-5

右図のジャンルにわたる一般シニアの方々の力作が、
 出展されています。シニアの余暇活動の発表の場
 あると共に、発表者と来場者との交流の場でもあります。
 共催の SR クラブ (シニアルネサンス財団) は、
 シニアの人たちが、生き生きと生きがいを持って
 暮らすことができるように、イベントやセミナーを
 提供している非営利団体です。
 皆さまお誘い合わせの上、ご来場をお待ちしています。



平成 14 年度会費納入のお願い

総会時、または、銀行振込でお願いします
 振込み先 UFJ 銀行 笹島支店
 口座番号 普通 1411404
 口座名 中部シニアライフアドバイザー協会



年金、再就職から家族、心悩みま
 の Q&A。
 SLA の定年に関するアンケート調
 査結果、協力者名が掲載。
 シニアルネサンス財団事務局長 河合 和著
 二見書房 1500 円+税

編集後記

今年度最後の SLA 通信は、写真を多く掲載しました。参加いただけなかったみなさんにも、
 SLA 活動の雰囲気だけでも感じていただければ幸いです。
 窓の外は、桜が 7 分咲き。パソコン漬けの時間から解放されて、「一杯！」とい
 きたいところですが、飲めない私はコーヒーを飲みながら、夜桜を楽しむこと
 にします。(恭)

SLA

●シニアの生き生きライフを支援する
 中部シニアライフアドバイザー協会